



議会だより



平成淡路看護専門学校との 学生との意見交換会を開催

10月24日、議会広報広聴常任委員会が、平成淡路看護専門学校の学生との意見交換会を開催しました。学生37名と、南あわじ市の魅力や、市に期待することなど、約1時間30分にわたって活発な意見交換を行いました。(14～15ページに詳細)

主な内容

- ・ 第69回定例会の結果 P 2～8
- ・ 一般質問 P 9～13
- ・ 委員会調査レポート P 14～15
- ・ 1年間の調査報告等 P 16～17
- ・ 議会報告会の結果 P 18～19

新しい委員会の構成

◎=委員長、○=副委員長。名前は写真左上から掲載。

総務常任委員会



原口育大 廣内孝次 蛭子智彦 柏木 剛
中村三千雄 ◎谷口博文 ○熊田 司 北村利夫

【所管事務】

総務部、企画部、危機管理部、市民部、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項

産業厚生常任委員会



小島 一 木場 徹 吉田良子 長船吉博
登里伸一 ◎川上 命 ○阿部計一 森上祐治

【所管事務】

福祉部、農林水産部、建設部、教育委員会、農業委員会の所管に関する事項

議会広報広聴常任委員会



谷口博文 廣内孝次 木場 徹 熊田 司
◎原口育大 ○吉田良子

【所管事務】

広報活動、広聴活動、議会広報紙、議会報告会に関する事項

議会運営委員会



長船吉博 阿部計一 登里伸一
○蛭子智彦 ◎小島 一 川上 命

【所掌事務】

議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項

議長就任挨拶

未来へ向かって 日々精進



印部 久信 議長

この度の議会の役員改選により議長に就任させていただきました。その重責を感じるとともに、日々精進する決意を新たにしているところであります。

現在策定作業中である「第2次南あわじ市総合計画」など、中長期的な指標となる計画が策定されており、先を見据えた取組みが求められるところであります。また、本年は12年間にわたる中田市長体制から新市長へと未来への

タスキリレーがなされる予定です。議会は二元代表制の一翼を担う存在であり、施策が適正に執行されているかを鋭く「監視」することはもちろん、市長から提案される議案に対し、一般質問、討論、委員会での質疑を通して、提出議案の意図す



登里 伸一 副議長

るところをより深く掘り下げ、理解し、市民の皆様にお知らせしなければなりません。そのためには広報広聴活動は重要であり、広報紙の発行、インターネット中継やケーブルテレビでの放送、議会報告会の開催を始め、幅広い世代の方々から御意見を伺いながら、皆様の意見を市政に反映できるよう努力いたします。市民の皆様にご理解とご協力を賜います。市民の皆様にご理解とご協力を賜います。市民の皆様にご理解とご協力を賜います。

第69回 定例会

- 11月22日 本会議1日目（議長・副議長の選挙ほか）
- 〃 24日 本会議2日目（議案上程ほか）
- 11月30日 本会議3日目（一般質問）
- 12月2日 本会議4日目（一般質問）
- 〃 8日 総務常任委員会
- 〃 9日 産業厚生常任委員会
- 〃 14日 本会議5日目（採決ほか）

第69回南あわじ市議会定例会が11月22日から12月14日までの会期で開かれ、議長・副議長選挙、常任委員・議会運営委員の選任などを行いました。また、市長より議案32件、人事案件3件の提出があり、また議会からは意見書など2件を提出し審議しました。主な議案の内容や質疑、採決の結果をお知らせします。

さんさんネットを民間化 ケーブルネットワーク淡路施設 条例の一部改正等の条例制定

■議案内容

ケーブルネットワーク淡路路（さんさんネット）の民間化に向けた、基本使用料の一括納付に対する割引制度の廃止。また民間化完了後の平成32年4月1日に条例を廃止する。

■主な質疑

問 民間化への移行を円滑に進めるための取り組みは。

答 専用窓口及び電話を設置して、戸別に相談、受付の対応を行う。また、状況によっては単位自治会に出向いて対応を行うことも検討している。

問 移行期間中に申し込みを済ませていなかった場合は、どうなるのか。

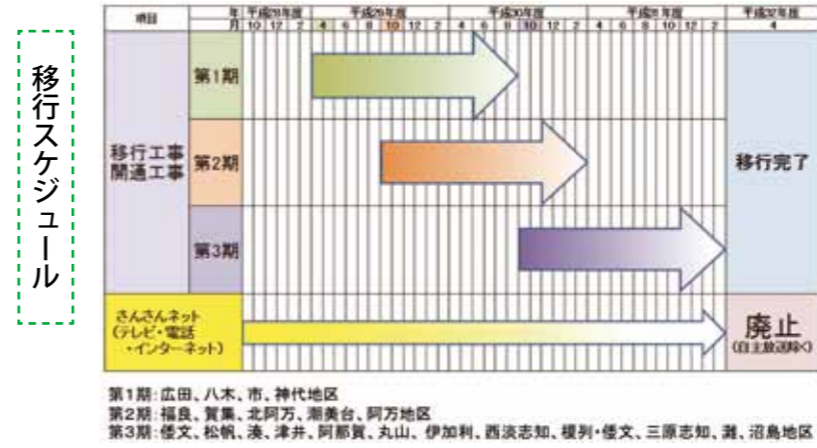
答 現在検討中であるが、移行に係る奨励金として、年払による減額1575円の3年分の相当額を考えている。

のか。

答 平成32年4月1日に、さんさんネットのサービスが停止する。これまで年払と半年払に対し、減額制度があり、今回の改正でなくなるが、これに替わるものを考えていないのか。

議決結果
賛成多数で原案可決

■委員間討議
・民間化には賛成であるが、継続して加入していただけるように、自主放送番組の充実や、魅力アップに力を入れて取り組んでほしい。



移行スケジュール

世界遺産・日本農業遺産 登録推進費などを追加 28年度一般会計補正予算(第4号)

■議案内容

一般会計に歳入歳出それぞれ12億7439万2千円を追加する。

■主な質疑

南あわじ市地域世界・日本農業遺産推進協議会負担金80万円の追加

問 28年度は認定が見送られたが、計上する理由は。

答 次回の認定に向けた調査研究を行うために活用したい。

南あわじ市地域世界・日本農業遺産推進協議会負担金80万円の追加

議員より修正案
■議案内容
認定こども園実施設計委託料310万円の追加経費等を削除する。
■提出者
蛭子智彦議員
長船吉博議員

修正理由
津井幼稚園の廃園を理由とする伊加利認定こども園の増設のための実設計費は、企業誘致が白紙になったことを始め、津井幼稚園の廃園の理由が全くないため310万円の実設計費の削除を求めらる。

歳出

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会負担金200万円の追加

問 世界遺産に登録された時の観光客の増大に対応した施設整備や環境整備などの構想を持つておくべきではないか。
答 計画を持って、取り組んでいきたい。

排水路設置工事費2736万円の追加

問 追加理由は。
答 北阿万新田中交差点付近の道路側溝の拡幅工事を行うもので、これにより大雨時の冠水が改善される。

議決結果
修正案は賛成少数で否決。原案は賛成多数で可決。

慶野松原荘に指定管理者 制度を導入 国民宿舎事業条例の一部を改正 する等の条例制定

■議案内容

国民宿舎「慶野松原荘」の経営の改善を目的として、指定管理者制度を導入するため、所要の改正等を行う。

地権者との関連もあるので売却することは難しい。

■討論

反対 蛭子智彦議員

■討論要旨

条例2条にある国民宿舎の目的は経済性の

■主な質疑

問 指定管理とせず、民間へ売却することは考えなかつたのか。

答 昭和44年のオープン時、地元地権者の方から町営で行うことを条件に、建物の底地を無償譲渡していた経緯に加え、駐車場



▲慶野松原荘(松帆古津路)

まち・ひと・しごと創生 総合戦略検証委員会条例 の制定

■議案内容

平成28年3月に策定した「南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、総合的かつ計画的な推進に必要な事項を調査審

議するため設置される合議体について、必要な事項を定める。

■主な質疑

問 委員会設置後の運用方法は。

答 年間3回から5回の委員会の開催を予定しており、市は委員会に、総合戦略の評価・検証についての意見を毎年求め、翌年度以降の総合戦略の見直しに役立てていく。

■議決結果

賛成多数で原案可決

民間業者へ長期貸与 サイクリングターミナル条例の 廃止

■議案内容

平成29年度以降、施設を普通財産とし、公募により選定された業者等への長期貸与とするため本条例を廃止する。

平成33年まで維持管理してもらう予定。滑り台などの遊具は、老朽化しており、本年度の検査で危険な状態であると判定されたため撤去する。

■討論要旨

サイクルスポーツの振興のために補助金を受けたい施設だが、その目的に沿った活用への努力がなかった。補助金目当ての事業経緯を反省して、新たな観光資源として注目されているサイクルスポーツ振興を目指す



▲サイクリングターミナル(神代浦壁)

問 テニスコートや体育館、遊具の管理は今後どうなるか。

■討論

反対 蛭子智彦議員

特別会計

28年度介護保険
特別会計補正予算
(第1号)
するなど。

■主な質疑

問 市が独自で予防に重点を置いた介護サービスをできないか。
答 利用者のニーズを踏まえた上で事業者と協議等によって検討する。

28年度訪問看護事業特別会計補正予算
(第1号)
賛成多数で原案可決

追加する。
■主な質疑
問 訪問看護ステーションの利用者が減少した原因は。
答 市内に民間事業所が増えてきたことなどによる。

■議案内容
利用者数の減に伴う訪問看護手数料の減額、及びそれに伴う一般会計繰入金金の増額など、予算の総額に歳入歳出それぞれ20万8千円を

追加する。
■議案内容
利用者数の減に伴う訪問看護手数料の減額、及びそれに伴う一般会計繰入金金の増額など、予算の総額に歳入歳出それぞれ20万8千円を

■討論

反対 吉田良子議員

■討論要旨

この条例は、基本的に国の基準であるが、市独自で施設の居室定員を利用者の負担が低い2人から4人以下にすることもできるのに明記されていない。各介護事業所のサービス内容などを市のホーム

ページなどで公表すべきである。
■議決結果
賛成多数で原案可決

指定地域密着型サービス事業者の指定の基準並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定

■議案内容

法律の改正に伴い、市の基準が国の基準と同じであることを明確に規定する方法へ変更する。

■主な質疑

問 地域密着型介護老人福祉施設の居室定員について、利用者のニーズに合わせた多様な居室の整備が必要では。
答 利用者の要望を把握し今後検討していく。

この条例は、基本的に国の基準であるが、市独自で施設の居室定員を利用者の負担が低い2人から4人以下にすることもできるのに明記されていない。各介護事業所のサービス内容などを市のホーム



▲障害者施設「ウインズ・きらら」

指定管理者に淡路島福祉会の施設の指定管理者の指定
(きらら・ウインズ)

■議案内容

障害者福祉施設「きらら」及び「ウインズ」の指定管理者に社会福祉法人淡路島福祉会を指定する。指定期間は29年4月1日から5年間。
■主な質疑
問 指定管理者選定を非公募とした理由は。
答 指定管理者の変更で職員全体が変わると利用者に大きな負担をかけるため。

■議決結果

賛成多数で原案可決

陸の港西淡条例の一部改正

■議案内容

陸の港西淡の施設使用料等を改める。

■主な質疑

問 国民宿舎がこれまで乗車券を販売していたが、改正後の販売方法は。
答 バス事業者4社がそれぞれ切符販売者と契約し、市は事務所を切符販売業者へ貸し出す。

■議決結果

賛成多数で原案可決

問 事務所使用料を1

土地改良事業の計画の概要を定めることについて

■議案内容

阿万吹上地区内において、農業用排水施設整備事業を計画する。

■主な質疑

問 ポンプの耐用年数は。
答 15年を見込んでおり、今回の更新も15年を経過したことによる。

■議決結果

賛成多数で原案可決



▲整備事業を計画している農業用排水施設



▲陸の港西淡の乗車券販売窓口

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

■要旨

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を強く国に求めるため、意見書を関係機関に提出する。
■意見書提出先
内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣ほか
■議決結果
賛成多数で原案可決

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

■議案内容

人事院勧告に準拠し、期末・勤勉手当を引き上げようとする一般職と同様、議員についても期末手当の引き上げを行うため、所要の改正を行う。
その内容は、期末手当を年間で0・1月引き上げ、6月に支給される期末手当について

■議決結果

賛成多数で原案可決

2・025月から2・075月に、また、12月に支給される期末手当を2・175月から2・225月に引き上げる。

一般質問 市政を問う

11月30日、12月2日の2日間にわたって、8人の議員が一般質問を行いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法 「市ホームページ」→「南あわじ市議会」→「録画放送」
→「一般質問の録画配信」

●答弁者は次のとおり表記しています。

市長→**長**、副市長→**副**、教育長→**教**、総務部長→**総**、企画部長→**企**、危機管理部長→**危**、市民部長→**市**、福祉部長→**福**、農林水産部長→**農**、建設部長→**建**、教育次長→**次**、会計管理者→**会**、選挙管理委員会書記長→**選**、都市計画課長→**都**



問 整備中のデジタル防災無線の告知端末は、いざというときに携行して持ち出せば、臨時のFM局のような活用が可能か。
危 無線に替わり災害に強くなる、断線しても情報は入る。
問 さんさんネットの固定カメラで災害対策本部のホワイトボードを映す、また必要であれば、そこへ職員が出て情報を発信するというような体制がとれないか。
危 災害対策本部のホワイトボードには災害情報がその都度

災害情報の伝達手段について

ゆづるはクラブ 原口 育大 議員

学校給食について

問 完全米飯給食へ移行する事情は。
次 国・県が通知等で、段階的な回数が増加を図るよう推進していること、また、保護者、児童生徒へのアンケート調査の結果なども踏まえ、週5回の米飯と月1日のパン提供という提案が決定された。

危 本市の建設候補地の優先順位は、市や県の公有地、2番目に国有地、3番目に民有地、ただし企業保有の土地で、個人の農地は最後の順位と考えている。



▲救助活動の訓練を行う消防隊員（B & Gグラウンド）

議決結果一覧

議長（印部久信）は表決に加わらない。
○は賛成、×は反対、－は欠席、※は退席、除は除斥

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否															
			中村三千雄	川上命	阿部計一	登里伸一	北村利夫	柏木剛	森上祐治	長船吉博	吉田良子	廣内孝次	木場徹	小島一博	谷口博文	原口育大	熊田司	蛭子智彦
市長	一般会計補正予算(第3号)の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×
28年度議員	一般会計補正予算(第4号)に対する修正動議	否決	×	×	×	×	※	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	
市長	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	農業共済事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	男女共同参画計画策定委員会条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	ケーブルネットワーク淡路施設条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	市税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	国民健康保険税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	サイクリングターミナル条例の廃止	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
市長	国民宿舎事業条例の一部を改正する等の条例制定	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
市長	国民宿舎条例制定	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
市長	指定地域密着型サービス事業者の指定の基準並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
市長	指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定の基準、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
市長	陸の港西淡条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	デジタル防災行政無線システム等整備工事請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(中央リサイクルセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(サンライズ淡路)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(きらら・ウインズ)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	土地改良事業の計画の概要を定めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	28年度農業共済事業に係る農作物共済無事戻金の支払い	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	28年度農業共済事業に係る園芸施設共済無事戻金の支払い	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	字の区域の変更(倭文、松帆、福良地区)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	人権擁護委員候補者の推薦(松坂壽仁氏)	適任	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	人権擁護委員候補者の推薦(芝壽郎氏)	適任	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
市長	南あわじ市・洲本市小中学校組合議会議員の選任(木場徹議員)	同意	○	-	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○
●議運	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
●議運	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●議運=議会運営委員会
※南あわじ市ホームページにおいて、議決結果を原則議決日の翌日に掲載しています。

日本共産党南あわじ市議員 蛭子 智彦 議員

津井幼稚園の廃止は保護者合意になっていない

問 企業誘致のため津井幼稚園をなぜ廃園にしなければならぬのか。
企 辰美中跡地は統合幼稚園の候補地として保護者から要望が来ているが企業誘致を最優先してほしいという津井地区からの要望。

問 保護者は辰美中跡地での統合幼稚園を望んでいないし津井幼稚園の存続を願っている。平成25年11月の地区長名で出された津井地区の経過報告に詳しく書かれている。教育部は



次 その通り。しかし教育部はその後保護者と話し合っていない。
企 地元から出された要望で動いている。
問 市の方針を「受け入れざるを



▲津井幼稚園

得ない」と地元の方が書いている。あなた方が企業誘致と幼稚園廃止を受け入れさせたのではないかと、議員が横柄なことを言っているのか。
問 地元から聞いた話を言っている。市長こそ住民の声を直接聞くべきだ。

日本共産党南あわじ市議員 吉田 良子 議員

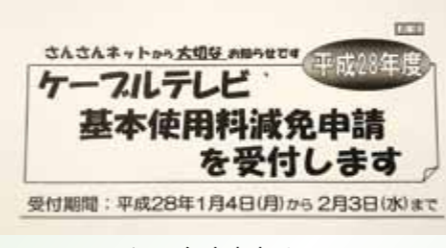
ケーブルテレビ民営化でサービスの低下に繋がらないように対策を求める

問 ケーブルテレビ使用料を1年間一括納付の場合、1か月分1575円を免除しているが民営化の場合は。
総 1575円を3年間移行奨励金として交付を検討。

問 民間事業者と平成42年までの契約だが、使用料は1500円と消費税は変わらないのか。
総 10年間は維持される。



問 公会堂、消防団の屯所の使用料の負担について。
総 協議していく。



▲28年度案内チラシ

高齢者のららんバス運賃の無料を求める
問 子ども議会でも高齢者の交通事故を減らすためにららんバスを無料にしてはどうかの意見があったがどうか。
都 今の段階では考えてない。
高年齢者・障害者福祉制度周知の冊子の作成はどうか
福 何らかの形で作成したい。

成相クラブ 柏木 剛 議員

3期12年の市政を振り返り

問 一体感ある南あわじ市の実現に向け、旧町のシンボルの旧庁舎の廃止、新市の統合シンボルの新庁舎について。
長 分庁舎のままでいいのか、庁舎を一つにするほうがいいのか、選択に悩んだが、市民の同意も得て、すばらしい庁舎ができた。今後、行政拠点として機能・役割が発揮できる庁舎、あの時造っておいてよかった、そうなるような庁舎にせねばと思う。



問 定員適正化では、計画よりも早く500名を達成したが、要因は。
総 17年合併当時656人の職員が27年6月に500名になり、計画より2年以上早く実現した。各部に毎年何名減とかを内示し、つらい時期もあったが、市民ニーズに対応するため、「頑張れ」の市長の言葉に市役所内、一丸となって対応した結果と思う。
問 実質公債比率13・2%、必要な事業やりつつ、着実に減少させてきた要因は。
長 県、国、人と人のつながりを大事にしてきた。「これをやるには、これくらい要るのや、効果はこう」と口説きまくった。情熱と本気でやる気



市民連合・無所属クラブ 木場 徹 議員

旧西淡町地域の合併後の行政課題

問 合併後の旧西淡地区はどのような課題があるか。
企 旧庁舎の跡地利用、県道阿万福良湊線等の道路整備、農漁業、瓦、観光の振興が課題。
問 主要県道の未改修部分の対応は。
都 丸山バイパス第3区は平成25年度から事業実施可能な路線になり、現在は地籍調査を実施中で用地等出来れば県へ要望する。



問 津井バイパスの延長整備は。
都 登立付近は事業用地が確保されれば望む。
新火葬場の建設
問 新火葬場は決定しているのか。
市 都市計画決定の手続きをしている。



▲平成16年に浸水被害を受けた旧西淡地域

事業実施を要望する。津井橋付近は、具体的に進んでいない。
問 松帆湊低地対策は。
都 樺田、北浜、北方、塩浜地区で倭文川両岸にポンプを設置し、倭文川に合流する。志知川排水機場を更新し、低い道路の嵩上げを計画し、湊は旧西淡庁舎前の排水ポンプを更新。
問 圃場整備を兼ねた排水対策をどう推進するのか。
農 掃守から江尻地区の地元と調整し、圃場整備の会を持ちたい。
水産振興課長の兼務
問 水産振興課長の兼務をいつまで続けるのか。
総 4月に単独の課長を配置したい。その他、湊公民館とその周辺整備について質問した。

一般質問

南あわじ市公明党 熊田 司 議員

避難所運営マニュアルの早期整備を

問 避難所運営マニュアルは整備されているか。

答 校ごとに独自にマニュアルを作成している。ただ、自主防災組織の代表者の方々に周知できていない。今後、自主防災組織用のマニュアルで、市民にも分かりやすいマニュアルを作成し、周知を図っていききたい。

食品ロスの削減を

問 各避難所の担当職員には、配布して適切かつ迅速に運営できるようにしている。拠点避難所となる小中学校では、学

問 教育施設における「食品ロス」の削減のための教育を進めるべきでないか。

答 給食センターでは、学期ごとに各学校・幼稚園の給食担当の先生方で献立委



員会を開催している。給食日ごと、学校ごとの残食量・残食率が少なくなるように呼び掛けている。また、小学1年または2年生に給食センターの施設見学を実施し、残さず食べることを啓発している。



防災訓練により避難所に避難する市民(福良小学校体育館)

無所属 森上 祐治 議員

出張所と教育センターの設置を

問 交流センターの窓口サービス。印鑑証明とか住民票の即時交付は好評だが、福祉、医療、介護等、比較的高齢者や弱者が対象となる行政業務は出来ない。高齢化社会が進行している。庁舎から遠方の地域に出張所的な施設をセンター内に作る必要があるのではないか。

答 三年を目標にしている現在、当面は現行の形でいきたい。子どもたちの学力格差が問題になっているが、

問 各校で「学力向上委員会」が活動しているが、28年度に市教委で「学力向上プロジェクト」を立ち上げ、①教職員の資質向上、②4・5年生の到達度テスト、③読書の推進を柱とする予算を置いた。

市 設置規則がある。民間の臨時職員に業務を担当してもらっている。専門的な業務や公金を扱う業務は最小限度にとどめている現状だ。

問 学力をつけるには「学習習慣づくり」が大切だが、「学力の樹」の説は大いに参考にしていきたい。



問 ますま



大阪大学 志水宏吉教授の講演資料を参考

ゆるるはクラブ 小島 一 議員

市有地、行政施設、道路等の管理について

問 普通財産、行政財産、道路の管理状況は。

総次都 6月、11月にシルバーに委託して草刈りをして

答 この他に、要望、通報等をいただいた箇所は現場確認をして随時対応している。

問 指摘があつてからでなく、普段から気を付けていて少し早めに対応していただきたい。

教育環境・保育環境について

問 平成26年3月に



答 広田小中学校の運動場の問題について、広田保育園の移転を考え跡地をサブグラウンドなり公園にするところが問題の解決につながるのではないか。



▲広田保育園

一部事務組合などの議会報告

平成28年10月～12月

南あわじ市・洲本市中学校組合

第4回臨時会

11月17日

平成27年度一般会計の決算を認定。

平成28年度一般会計補正予算、小学校空調設置工事費等1333万円を減額。

一般質問 吉田良子議員

「グラウンドの整備を急ぐべき」「到達度テストのあり方」

淡路広域行政事務組合

第4回定例会

12月22日

平成28年の人事院勧告に基づき職員の給与を平均0.2%引き上げる給料表の改正と、勤勉手当を0.1か月

分引き上げる職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を可決。

また、副議長に登里伸一議員を選出。

淡路広域消防事務組合

第4回定例会

12月22日

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を可決。

また、寄付金を頂いたことに伴い400万円を増額する一般会計補正予算を可決。

淡路広域水道企業団

第4回定例会

12月22日

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例と、給与改正に必要な人件費を計上した

水道事業会計補正予算を可決。

また、議長に印部久信議員、監査委員に谷口博文議員を選出。

洲本市・南あわじ市衛生事務組合

第2回定例会

12月27日

条例3件の制定と平成28年度一般会計補正予算、27年度一般会計の決算を認定。

また、議長に上田昌孝議員、副議長に熊田司議員を選出。

一般質問 原口育大議員

「焼却炉稼働状況」「運営目標の方策と目標効果額」 蛭子智彦議員

「ごみ分ければ資源」「やまなみ苑の責務」

市の財政状況は？

総務常任委員会

10月31日の委員会

市の財政状況

合併特例債の使用期限が5年間延長され、平成31年度までとなったが、使用状況は。

発行可能限度額が248億円で、28年度末累計で約202億円。残り約46億円しかない。

使用した主な事業は何か。

一番大きなものは、ケーブルテレビ事業。あとは学



▲灘黒岩水仙郷 (2月下旬まで開園予定)

灘黒岩水仙郷の開花対策は？

産業厚生常任委員会

10月7日の委員会

中山間地域等直
接支払制度及び
多面的機能支払
交付金制度

中山間地域直接支払制度の市内における活用状況は。

条件不利農地において持続可能な生産活動ができるように国等が支援するもの。市内22地区で取り組んでおり、協定面積200.2ha、交付金額は3955万6千円。

多面的機能支払交付金事業の市内における活用状況は。農地維持及び資源を国等が支援するもの。市内農業振興地域の82%にあたる2883ha

合管理計画」を策定し、施設の統廃合を検討して、管理経費を抑えていく必要がある。

市内の小中学生全員が有権者となり、明るい選挙を推進するためのイメージキャラクターを模擬選挙で選ぶというもの。これにより実際の選挙のことを学んでもらう。

「国生みの島・淡路」が日本遺産に認定され、28年度、国からの補助金4000万円の交付を受けたが、どのような事業に使うのか。

ご当地めいすいくん選挙」実施される「ご当地めいすいくん選挙」とは。



▲ご当地めいすいくんに当選した「うずしお船長めいすいくん」

委員会調査レポート

委員会

そこが知りたい

各委員会では、議会閉会中も調査活動などを行っています。10月～11月の議会閉会中に行われた委員会の概要を報告します。市ホームページに会議録を順次掲載していますので、ご覧ください。

鳥獣被害の拡大

以前よりも被害が拡大しているように思うが防除は。

イノシシの被害が大きく、ここ数年で捕獲数も増えている。防護柵の設置、捕獲班による駆除、捕獲箱の購入補助等を実施しているが、抜本的な対策が全国的に見つかっていない。

漁業後継者の育成

後継者の育成は。また、養殖業の推進は。

組合員数は年々減少傾向にある。シラス漁は、新規参入の希望者が多いが、底引き網、定置網などは厳しい状況にある。養殖業は、淡路島3年とらふぐが主流になっており、サクラマスの養殖が試験的に始まっている。

「南あわじ市の魅力発見」をテーマに意見交換会を開催

議会広報広聴常任委員会

平成28年10月24日に平成淡路看護専門学校で意見交換会を開催した。専門学校生37名の参加をいただき、「市に期待することや要望」につき11名の学生より意見や要望があった。

主な意見交換の内容 地方創生の取組内容、人形浄瑠璃とアニメと

障害者支援策、大型ショッピングモールや映画館の誘致等いろいろな分野の課題について、多くの生の声を聞け、予定の1時間30分があつという間に経過し、大変有意義な意見交換会であった。学生の方からお聞きした数々の声の一つでも多く市政に反映されるよう今後の議員活動に取り組みたいと感じた。



▲議員に質問する平成淡路看護専門学校の学生

1年間の委員会 調査報告

12月定例会で議会運営委員会及び議会広報広聴常任委員会の27年11月からの1年間の活動報告が行われました。その結果を掲載します。

市民に参加を募り議員公開研修会

議会運営委員会

(1) 議会運営

毎月定例的に委員会を開催し、本会議及び委員会の日程調整並びに議会運営についての協議を行い、議会運営や活動のあり方等について問題点をとらえ、円滑で効率的な運営を図るため調査研究を行った。9月定例会において昨年4月に市内で発見された松帆銅鐸の復元品を開会の号鈴に使用し「銅鐸のまち」南あわじ市を全国にPRした。

(3) 議長の諮問

発生が危惧される南海トラフ巨大地震等あらゆる自然災害に対し、議会の危機管理、防災意識の向上を図るため、災害発生時の対応要綱並びに災害対応行動基準を制定した。議会を代表し市

政の円滑な運営を行う上で必要な議長交際費を議会交際費に改め、支出基準の見直しを行った。議員研修会においては、議会への市民参加と連携を促進するため「公開研修会」とし、広く市民に参加を募り、講師として蓮池薫氏を迎え、議会として今後拉致問題の早期解決への啓発の必要性を研修した。

(2) 会議規則、委員会に関する条例等

新庁舎開庁から1年が経過し、市の行政組織の再編に伴い委員会条例の所管事項の見直しが必要となったが、



▲ 満席となった議員公開研修会

淡路3市合同広報広聴交流会を開催

議会広報広聴常任委員会

(1) 広報活動

▼ 広報紙の発行

「議会だより」を年4回発行し、今年度から全ページカラー刷りにするとともに、側面に見出しを付けて興味のあるページを開きやすいように工夫した。

▼ 淡路3市合同広報広聴交流会

編集の進め方や注意点などの情報交換をするために、初めて3市で交流会を開催した。各市の取り組みが参考になった。

(2) 広聴活動

▼ 議会報告口会

第7回となる議会報告会を緑市民センターで開催し、23名の参加

(2) 子ども議会

次代を担う子どもたちが、政治や行政について関心を持ち、学ぶ機会を提供するため、また、まちづくりに対する意見も聴くため、第2回子ども議会を開催した。多くの傍聴者が訪れ、ケーブルテレビ放映、議会だよりの記事を掲載した。

▼ 平成淡路看護専門学校の学生との意見交換会

幅広い世代から議会や市政に対する意見があった。頂いた意見や要望、アンケートの集計結果は報告書としてまとめ、市政に反映するように全議員及び市長に送付した。

幅広い世代から議会や市政に対する意見があった。頂いた意見や要望、アンケートの集計結果は報告書としてまとめ、市政に反映するように全議員及び市長に送付した。



▲ 淡路3市合同広報広聴交流会

議会活動日誌

10月～12月の議会の活動状況について次のとおり報告します。

10月

- 10月 産業厚生常任委員会
- 7日 尼崎市市制百周年記念式典 (議長)
- 8日 暴力追放・安全安心まちづくり市民大会 (全議員)
- 11日 議会広報広聴常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 全国消防探検大会 応援 (全議員)
- 14日 新ひだか町誕生十周年記念姉妹都市歓迎交流会 (議長)
- 15日 兵庫県知的障害者福祉大会 (副議長)
- 16日 新ひだか町誕生十周年記念式典 (議長)
- 17日 連合PTA家庭教育フォーラム (PTCA) (副議長)
- 18日 男子・女子ソフトボール大会 (副議長)
- 19日 議会広報広聴常任委員会
- 20日 地方行政課題研究会 (議長)
- 21日 市民ゲートボール大会 (副議長)
- 22日 近畿市議会議長会議長研修会 (議長)
- 23日 全国市議会
- 24日 議長会研究フォーラム (正副議長)
- 25日 東播・淡路市議会議長会 (正副議長)
- 26日 淡路政経懇話会10月例会 (議長)
- 27日 JENESYS 2016 韓国大学生訪問ホームステイ対面式 (議長)
- 28日 平成淡路看護専門学校学生との意見交換会
- 29日 兵庫県市議会議長会市町正副議長研修会 (正副議長)
- 30日 全国消防探検大会に係る祝賀会 (全議員)
- 31日 淡路島日本遺産認定記念フォーラム (全議員)
- 11月 食と文化の市民まつり (議長、産厚委員)
- 2日 議会広報広聴常任委員会
- 3日 兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ大会 (議長)
- 4日 水産まつり
- 5日 B&G会長杯少林寺拳法淡路大会 (議長)
- 6日 日本女子プロ野球リーグ2016兵庫ダイオーネ完全優勝に伴う祝勝会 (議長)
- 7日 議会定例会 (第3日)
- 8日 交通系ICカードサービス記念セレモニー (議長)
- 9日 議会定例会 (第4日)
- 10日 総務常任委員会
- 11日 産業厚生常任委員会
- 12日 民生委員児童委員等感謝状授与及び辞令交付式 (議長)
- 13日 議会定例会 (第5日)
- 14日 兵庫県市町村退職手当組合議会定例会 (議長)
- 15日 ジョイポータル南淡路株式会社設立二十周年記念式典 (議長、全議員)
- 16日 淡路地域広域団体議会臨時会 (正副議長、総務委員長)
- 17日 ZENZAI・CUPベタンク大会 (議長)
- 18日 洲本市・南あわじ市衛生事務組合議会定例会
- 19日 消防団年末警戒の激励巡視 (議長)

12月

- 26日 兵庫県保育大会 (正副議長、産厚委員)
- 27日 議会定例会 (第2日)
- 28日 議会定例会 (議長)
- 29日 技能功労者表彰式典 商工会優良従業員表彰式 (議長)
- 30日 南あわじ市議長会 (議長)
- 31日 一般社団法人淡路島観光協会懇親会 (議長)
- 1日 議会定例会 (第1日)
- 2日 特別養護老人ホームくまの里開設記念式典 (議長)
- 3日 淡路政経懇話会11月例会 (議長)
- 4日 市小中学校組合議会定例会 (議長)
- 5日 南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会 (議長)
- 6日 健康大学講座修了式 (議長)
- 7日 南あわじ市・洲本市小中学校組合議会定例会 (議長)
- 8日 淡路政経懇話会11月例会 (議長)
- 9日 議会協賛会
- 10日 淡路政経懇話会
- 11日 議会協賛会
- 12日 議会協賛会
- 13日 議会協賛会
- 14日 議会協賛会
- 15日 議会協賛会
- 16日 議会協賛会
- 17日 議会協賛会
- 18日 議会協賛会
- 19日 議会協賛会
- 20日 議会協賛会
- 21日 議会協賛会
- 22日 議会協賛会
- 23日 議会協賛会
- 24日 議会協賛会
- 25日 議会協賛会
- 26日 議会協賛会
- 27日 議会協賛会
- 28日 議会協賛会
- 29日 議会協賛会
- 30日 議会協賛会
- 31日 議会協賛会



▲9月定例会の結果を報告する議員

市民からの声

議会報告会に参加して（アンケート・意見）

■報告会について

- ・今後、マンネリ化しないように工夫が必要。
- ・何らかの議題を設定し、その件について市民の声を聞く場としても良いのでは。
- ・初めての参加でしたが、非常に良かった。
- ・質疑応答の時間をたっぷりとして欲しい。
- ・議会の立場が少し分かりました。
- ・議会の報告は、広報紙、ホームページ等で分かるので、市民との意見交換に時間をとる方が良いと思う。
- ・旧町単位で議会報告会をお願いしたい。

■ご意見・ご要望

- ・さんさんネット等でできるだけ多くの市民に議会報告会の内容を知らせるべき。
- ・各議員は一生懸命頑張っているんだと再確認しました。
- ・議会の活性化が進むような会にした方が良いのでは。
- ・分庁舎がなくなって、高齢者にとって大変不便になってきているように思う。市民交流センターに職員が出張してきて市民へのサービスも考えていただきたい。

■市民交流センター
市民交流センターのサービス、分庁舎時に比べ明らかに落ちている。地域振興券では買いにいけない、不公平感が大きくなってきている。できることをもっと増やせないか。

■新火葬場
新火葬場の協議の経過について確認するため、情報開示請求した。

■淡路人形浄瑠璃館
人形浄瑠璃館につ

11月9日、緑市民センターで第7回議会報告会を開催しました。議会報告会では、9月定例会の議案の内容や、どのような審議があり、議決結果はどのようなものかなど、パワーポイントを使用して、報告を行いました。

また、市民の方々の意見交換会も行い、多くの意見や要望を頂きました。主な意見は次のとおりです。詳細は市のホームページに掲載しています。

あり方やコストを考えた中で、市民交流センターとして。業務は条例や規則で決めている。地域振興券の取り扱いなどは条例や規則を改正すれば行える。

慎重に対応すべき施設であり、現場が努力していることは理解していた。質問がなかったのはインターネットで流れるのはよくないという議員の配慮が働いたためだと思う。

だが、会議録がなかった。市民に情報公開をするのが議会ではないのか。

議会に対しては地名変更と公聴会を行うことについて、議員協議会で報告があった。

28年度予算審査時、実施設計3500万円に対し、議会から一言も発言がなかったが。



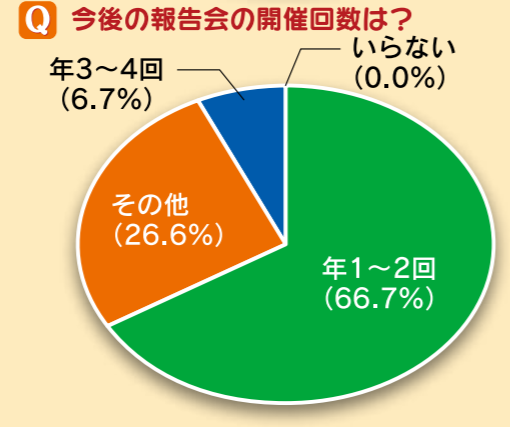
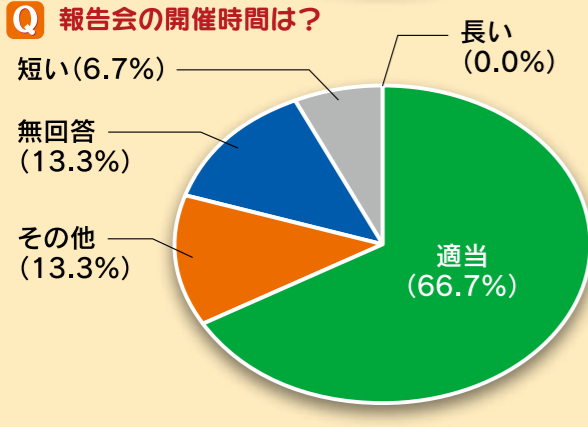
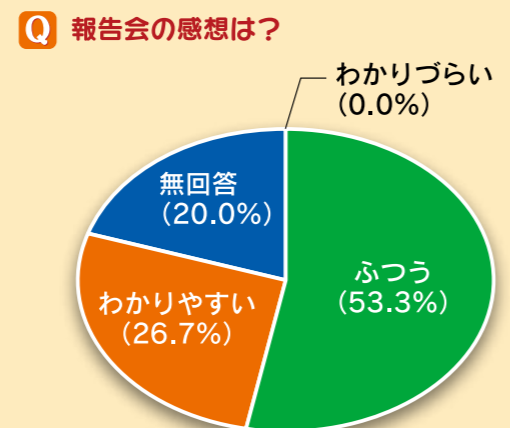
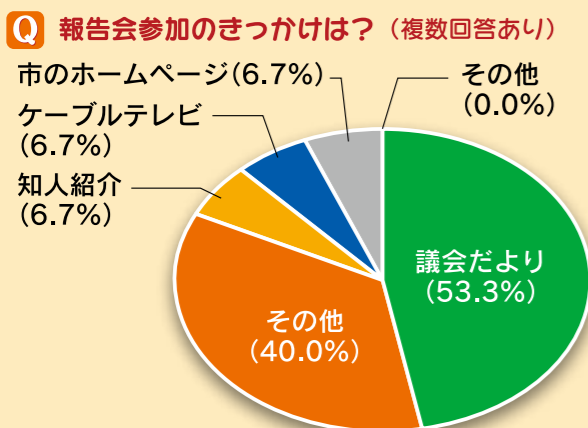
▲全議員が出席し、市民と意見交換を行う

第7回議会報告会を開催

いて、県の福祉まちづくり条例に違反したために手直し工事を行ったが、この件で当時の設計事務所と裁判中とすることであるが、結果は出ているのか。

裁判中のため、経過は聞いていない。

アンケート結果



参加者数 23人
回答者数 15人

行政視察の受け入れ状況

月日	議会名	調査内容
10月6日	福井県鯖江市	食の拠点施設
11月7日	愛知県豊川市	縁結び事業「ハッピーマジックの会」
11月8日	宮崎県西都市	子育て支援事業、松帆銅鐸
11月9日	東京都清瀬市(会派)	食の拠点施設
11月17日	長野県須坂市(会派)	子育て支援事業
11月25日	新潟県刈羽村	シティプロモーション「あわじ国」、子ども議会

議会の豆ちしき

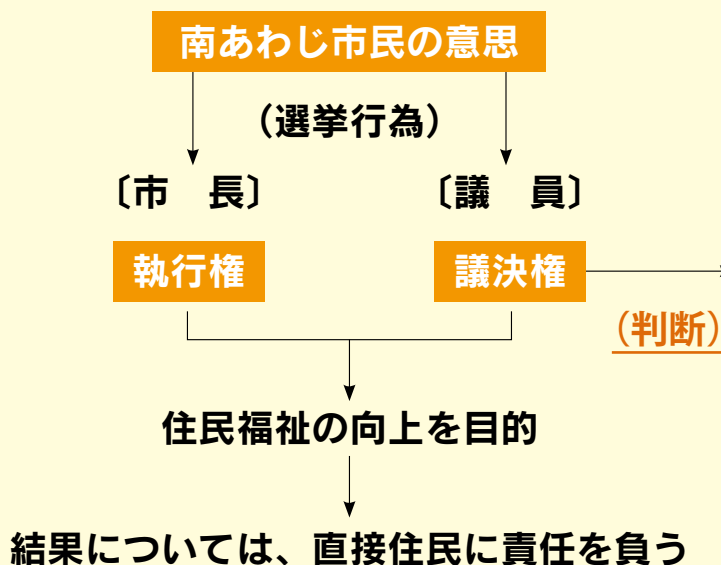
● 議会の役割

地方公共団体にはその意思や基本的な方針を決める「議決機関」としての議会と、その決定に基づいて実際に仕事を行う「執行機関」として市長、教育委員会、選挙管理委員会などがあります。

市民は選挙で直接、市議会議員と市長を選びます。

市長は市政の方針や重要な事項を議案として市議会に提案し、市議会は提案された議案について審議し決定します。その決定に従って、市長は市政を執行し、議会は執行機関が適正に仕事を行っているか「監視」をしています。

南あわじ市では、市民を代表する公選の議員（定数 18 人）をもって構成されています。



● 議会の使命

- (1) 地方公共団体の具体的施策を最終的に決定
- (2) 決定事項が適法、適正、公平、効率的、民主的になされているかを住民全体の立場に立って批判し、監視

3月定例会の日程

3月定例会の日程は、2月13日以降に決定します。

日程が決まり次第、南あわじ市ホームページに掲載します。また、3月1日発行の広報南あわじにも掲載しますので、ご覧ください。

編集後記

明けましておめでとうございます。

議会だより第52号では、役員改選によって誕生した新しい正副議長と各常任委員会構成を紹介しています。

また、昨年開催した平成淡路看護専門学校生の意見交換会では、学生からの真剣で鋭い質問に、参加した議員も一生懸命に対応しました。懇談の様子を掲載していますのでご覧ください。

議会広報広聴常任委員会では、今年も議会、報告会や子ども議会、様々な年代の市民団体の方との意見交換会などを積極的に実施したいと考えていますので、どうぞよろしくお願いたします。
(原口)

